

令和 5 年度

人間生活学研究科（博士前期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和 4 年 9 月 17 日

高知県立大学大学院

筆記試験 A

設問は3問あります。この3問の中から1問を選択し、解答しなさい。

(200点)

問1 令和3年版高齢社会白書（内閣府）によると、日本人の高齢化率は28.8%（令和2年10月1日現在）で、世界一の水準となっており、健康寿命の延伸と介護予防の重要性が高まっている。そのため、「ロコモティブシンドローム」や「サルコペニア」、「フレイル」の概念が普及した。これらの概念の違いや関係性について論じなさい。また、高齢者の現状や栄養上の課題をふまえ、これらの予防策について簡潔に述べなさい。

*出典：内閣府 令和3年版高齢社会白書 全体版（PDF版）
(https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/03pdf_index.html,
2021.12.19 アクセス)

【出題の意図】

高齢化とそれに伴って増加している医療費等の問題は、わが国において避けては通れない重要な課題である。そのような社会背景に伴い、わが国における「ロコモティブシンドローム」や「サルコペニア」、「フレイル」の理解と予防の重要性が高まっている。そこで、これらの概念と関係性の理解、また、高齢者の現状や栄養上の課題とその背景をふまえたこれらの予防策への思考力を問う。

また、論理的に記述する力、文章表現力、知識の応用力などを問うものである。

【解答のポイント】

以下の点を評価のポイントとする。

1. 「ロコモティブシンドローム」や「サルコペニア」、「フレイル」の概念とその関係性を正しく理解していること。
2. 高齢者の現状や、注意しなければならない栄養上の課題とその背景を理解していること。
3. 「ロコモティブシンドローム」や「サルコペニア」、「フレイル」の予防策について1)、2)をふまえて論理的に説明していること。

問2 わが国では、平成24年に「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（障害者虐待防止法）が施行されたものの、障害者虐待は後を絶たない。障害者福祉施設や家庭、職場などでの障害者虐待の背景や要因、またその解決策について、あなたの考えを述べなさい。

【出題の意図】

わが国における障害者虐待の背景や要因について、障害者や家族、施設職員、職場などさまざまな角度から理解しているかを問う。あわせて、障害者虐待の解決策について、ソーシャルワークや制度・政策、人々の意識などからの考察力を問う。
また、論理的に記述する力、文章表現力、知識の応用力などを問うものである。

【解答のポイント】

以下の点を評価のポイントとする。

1. 障害者虐待が解消しない背景や要因について総合的に考察し、説明していること。
2. 社会福祉の観点から、障害者虐待の背景や要因をふまえ、その解決策について、論理的に説明していること。

問3 「交流」と「文化」について、両者を関連づけ、具体的な例を示しながら、あなたの専門的観点から論じなさい。

【出題の意図】

「文化」を考究するには、「交流」の視座が欠かせない。この点に関して、専門的観点から具体的な例を示し、考察する力を問う。

また、論理的に記述する力、文章表現力、知識の応用力などを問うものである。

【解答のポイント】

以下の点を評価のポイントとする。

1. 「交流」と「文化」について、具体的な例を明示しながら説明していること。
2. 1の例示をふまえ、専門的観点から論理的に考察していること。

筆記試験B

問 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が国民生活に与えている影響について述べなさい。そのうえで、栄養・生活学、社会福祉学、文化学のいずれかの領域に関連して、どのような対策を進めればよいと思うか、あなたの考えを述べなさい。

(200点)

【出題の意図】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が国民生活に与えている影響と対策についての考察力を問う。

また、論理的に記述する力、文章表現力、知識の応用力などを問うものである。

【解答のポイント】

以下の点を評価のポイントとする。

1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国民生活への影響について的確に把握し、論理的に記述していること。
2. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策について、自分の専門領域の知見から、具体的に論じていること。